



実感でできる政策提言を！

福島町議会議長 溝部 幸基

謹賀 年頭のご

謹んで新年のお祝いを申し上げます
日頃から、議会に対し温かいご理解とご協力をいただき、心から感謝とお礼を申し上げます。

長く要請してきました「地方議会の役割」、「議員の職務」などの位置付けが地方自治法に明文化され、選挙費用の公費負担も実現し、地方議会・議員の活動環境は改善されましたが、昨年8月の改選では、残念ながら町議選挙としては初めて無投票となり、9名での議会構成のスタートとなりました。

【各議員の公約(選挙公報)をホームページへ掲載しております。】

新たな任期もまた、まちづくり・議会両基本条例の主旨を踏まえ、政策形成のできるだけ早い段階に議会・議員の意思を示し、提言する議会を意識し、計画・予算から決算・評価に至る各段階で政策の具現化を目指して、積極的な議会活動を展開してまいります。

令和6年度から始まる第6次総合計画については、常任委員会で主要施策の進捗状況評価・事務事業評価を実施、特別委員会の調査を経て、議会としての報告書を手交しております。

施策の計画・提案・執行には、より慎重な精査と、説明・調整が必要で、性急な施策の執行は、町民の理解を得られません。議会としても、町民への議決責任・説明責任を果たすために、しっかりと討議・提言し役割を果たしていかなければなりません。

町づくり基本条例、議会基本条例がスタートして14年が経過しました。

両基本条例の実践課題は「住民・行政・議会の協働」です。協働の基本は、「伝える力」「聞く力」「つながる力」を互いに出し合い、行動(起動)することです。

議会としては、引続き町民の皆さんと情報共有できる機会を提供し、さらに「実感でできる政策提言」を目指し活発な議会

活動を実践してまいります。

今年も「町民と議員の懇談会」を2月2日から6日間、皆さんのお話を聞くことを中心に開催いたしますので、お誘いあわせの上、参加くださいますようお願いいたします。

コロナ感染症も未だ完全収束とはならず、ワクチン接種が続いておりますし、インフルエンザの発症も多く、児童・生徒など感染の低年齢化も懸念されます。引き続き「3密」を回避し、予防の徹底(手洗い・消毒・マスク着用など)を恒常化することが重要です。

町民の皆さまのご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げます、新春のごあいさつとさせていただきます。